

(講座) 分子創薬科 (研究室) 薬品製造化学
(氏名) 畑山 範 (職名) 教授

【研究テーマ】

1. 新規合成反応剤の開発研究
2. 効率的有機分子構築法の開発研究
3. 生理活性天然物の合成研究
4. ビタミンD化合物の合成研究

【論文発表】

A 欧文

(A-a) 原著論文

1. J. Ishihara, O. Tokuda, K. Shiraishi, Y. Nishino, K. Takahashi and S. Hatakeyama: Synthetic Study on Clutiolide Based on a Remote Chelation Controlled Ireland-Claisen Rearrangement, *Heterocycles*, **80**, 1067-1079 (2010). (IF: 1.165)
2. M. Yoshino, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama, Y. Ono, H. Saito, and N. Kubodera: Synthesis of 20-Epi-eldecalcitol [20-Epi-1 α ,25-dihydroxy-2 β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃: 20-Epi-ED-71], *Heterocycles*, **81**, 381-394(2010). (IF: 1.165)
3. S. Hatakeyama, M. Yoshino, K. Eto, K. Takahashi, J. Ishihara, Y. Ono, H. Saito, N. Kubodera: Synthesis and preliminary biological evaluation of 20-epi-eldecalcitol [20-epi-1 α ,25-dihydroxy-2 β -(3-hydroxypropoxy)vitamin D₃:20-epi-ED-71], *J. Steroid Biochem.*, **121**, 25-28 (2010). (IF: 2.655)

B 邦文

(B-b) 総説

1. 高橋圭介, 畑山範: インジウムトリフラートを触媒とする Conia-エン反応と生物活性アルカロイドの合成, 有機合成化学協会誌., **68**, 951-961 (2010). (IF: 0.574)

【学会発表】

A 国際学会

(A-b) 一般講演

1. J. Ishihara, Y. Watanabe, N. Koyama, Y. Nishino, K. Takahashi, S. Hatakeyama: New variant of Reformasky-Claisen rearrangement mediated by indium chloride, 1211, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 18 (2010).
2. S. Shibahara; T. Matsubara; K. Takahashi; J. Ishihara; S. Hatakeyama: Total synthesis of chloptosin, 2068, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 19 (2010).
3. K. Eto, M. Yoshino, K. Takahashi, J. Ishihara, S. Hatakeyama: Synthetic study on

the oxazolomycin family of compounds, 2104, The 2010 International Chemical Congress of Pacific Basin Societies, Hawaii, USA, Dec, 19 (2010).

B 国内学会

(B-a) 一般講演

1. 畑山 範：高度多置換アルカロイド合成の新戦略、S43-7、日本薬学会第130年会、岡山、平成22年3月30日

(B-b) 一般講演

1. 芝原攝也、松原孝昌、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：クロプトシンの全合成に向けたピロロインドリンコア部の合成、28TF-pm03、日本薬学会第130年会、岡山、平成22年3月28日
2. 吉野円香、江藤康平、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：不斉有機触媒反応に基づくオキサゾロマイシン左セグメントの新規合成法の開発、29TG-pm01、日本薬学会第130年会、岡山、平成22年3月29日
3. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：オキサゾロマイシンの合成研究、29TG-pm02、日本薬学会第130年会、岡山、平成22年3月29日
4. 浦辺郁也、永島俊介、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Cinatrין C1 及び C3 の全合成研究、29TG-pm03、日本薬学会第130年会、岡山、平成22年3月29日
5. 芝原攝也、シャヒーン・サルカール、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：Phoslactomycin 類抗生物質の全合成、P-12、第20回万有福岡シンポジウム、福岡、平成22年5月22日
6. 江藤康平、吉野円香、高橋圭介、石原 淳、畑山 範：インソマイシン及びオキサゾロマイシン類抗生物質の合成研究、38、第52回天然有機化合物討論会、静岡、平成22年10月1日
7. 芝原攝也、松原孝昌、高橋圭介、石原淳、畑山 範：ピロロインドリン含有環状ヘキサペプチド類の合成研究、20 05、第36回反応と合成の進歩シンポジウム、名古屋、平成22年11月2日
8. 松原 孝昌、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：オフィオジラクトン類の合成研究、1C 01、第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成22年12月11日
9. 吉野 円香、江藤 康平、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：不斉有機触媒反応に基づくインソマイシン類天然物の全合成、1C 02、第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成22年12月11日
10. 浦辺郁也、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：シナトリン C1 及び C3 の合成研究、2C 01、第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成22年12月12日
11. 白石和範、徳田 宙久、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：クルチオリドの合成研究、2C 02、第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成22年12月12日
12. 横井 裕一、高橋 圭介、石原 淳、畑山 範：エングレリンAの合成研究、2C 03、第27回日本薬学会九州支部大会、長崎、平成22年12月12日

【学会役員等】

1. 日本薬学会化学系薬学部会副部長
2. 日本薬学会九州支部幹事
3. 九州大学先導物質化学研究所外部評価委員
4. 物質デバイス領域共同研究拠点、共同研究推進委員会委員

【過去の研究業績総計】

原著論文（欧文）	144 編	（邦文）	0 編
総説（欧文）	2 編	（邦文）	4 編
著書（欧文）	1 編	（邦文）	10 編
紀要（欧文）	0 編	（邦文）	0 編
特許	10 件		